

平成28年 4月 5日 5月

医療法人社団 誠和会

# Hasegawa-HP 広報

## ロボットスーツ“HAL®”が希望をあたえる♪

立つ。座る。歩く。・・・を繰り返すことで、脳が記憶する。



■PTの掛け声に合わせて、HAL®のアシストで立つ、座るを繰り返し行う。



■HALのアシストで歩く。



■脱着後、脳に残る感覚で蹴り上げる足にも力強さを感じます。



脱着後も脳に残る記憶により、立てる。歩ける。  
“HAL®”のアシストで、自信が持てる。

“HAL®”は、体験してなっとく！

《HAL®》を使用したリハビリが、想像以上の結果を導き出す！

リハビリを行う人の体格に合わせて調整ができるロボットスーツは、違和感なく装着できます。PTの掛け声に合わせて、立つ座るを繰り返し行うことで脳が記憶していきます。また歩行訓練の際も、右に左にゆっくり足を前に運ぶことを繰り返すことで「歩く」ことを記憶していきます。患者さまは、歩かされているという感覚ではなく、自分の意志で歩きます。ロボットスーツ脱着後、座った体制で足を蹴り上げていただいたところ、装着前に比べ「足が軽くなった。」とおっしゃっていました。



■体格に合わせて調整できます。

## 医療安全研修 (RCA) 実施・・・<リハビリテーション科>対象



■グループごとの発表では、各代表者の熱弁が響きました。



■根本原因を表にすることで、対策案を導きやすくなる。



●当院では、医療安全研修における参加率100%を基本とし、部署ごとに実施。

### リハビリテーション科の題材は・・・？

どうしたらいいの？

●リハビリ目的で入院中の患者さまが、夜間にトイレ手前で倒れていた。看護師が発見しバイタルチェック等の確認後、問題がない旨を医師に報告。経過観察との指示。翌日、担当医師へ報告するも経過観察との指示。家族への連絡はしていない。7日後に急変、緊急手術により退院延期。転倒の報告もしていなかったことにより信用問題となり、延長分の費用についてなどで家族が激怒し、対応の問題が問われた。

グループごとに検討する中で、それぞれのスタッフの意見を尊重し合うことがポイントです。考えられる問題点から『根本原因』を導き出し「対策案」を検討した結果、同じ課題を検討してもグループごとにさまざまな発見がありました。問題に直面したら、まず『根本原因』を探ることが重要です。私たちはこの研修を通じて、全てのスタッフに意識づけることで「より良い病院づくり」、医療事故のない「安心な病院づくり」を目指していきます。

5月12日  
看護の日

みんなが集まる場所づくり・・・

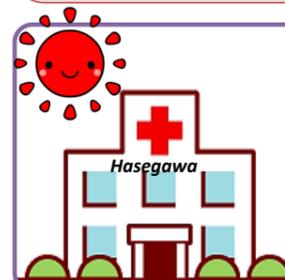
看護師による相談会を5/12(木)に実施します。

相談会時間：●午前 9:00～11:00 ●午後 13:00～15:00

普段なかなか聞けない看護・介護・入院についてや病気の悩みなど、

お気軽にご相談下さい。看護師が対応させていただきます。

5月9日(月)～5月15日(日)の間中は、  
看護紹介などの「手作りポスター」を展示しております。  
お散歩のついでにお立ち寄りください。



<空床情報>  
5/6現在  
療養病棟(0床)  
回復期病棟(4床)

◆下記までお気軽にお問合わせください。  
医療法人社団 誠和会 長谷川病院; 地域連携室(MSW)  
電話:043(444)0137 · FAX:043(444)0257